

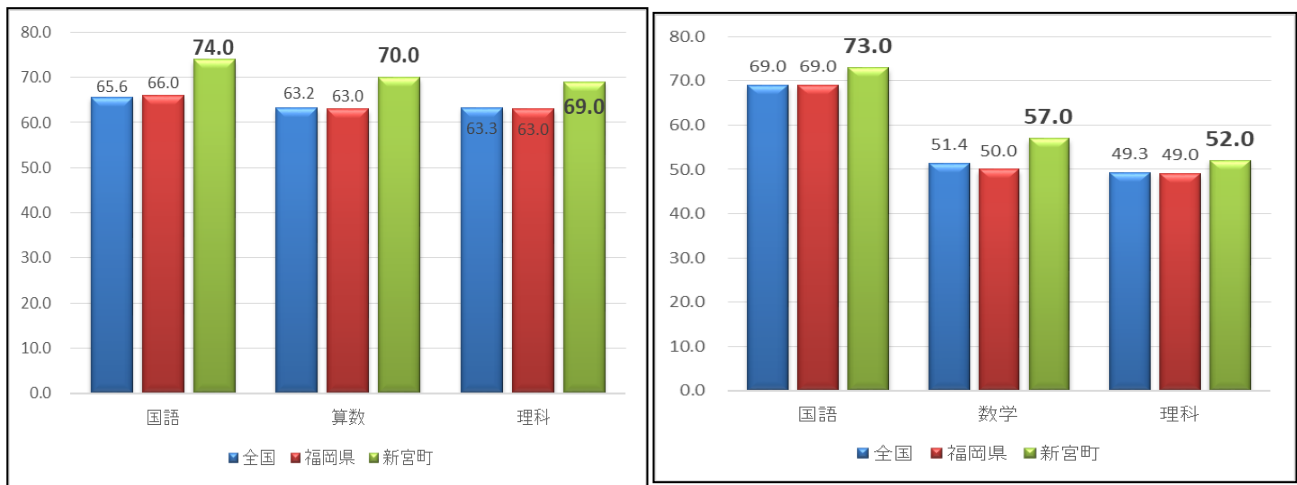
# 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

新宮町教育委員会

## 1 全国学力・学習状況調査について

- (1) 実施日 令和4年4月19日(火)
- (2) 調査対象 小学校第6学年、中学校第3学年
- (3) 調査の内容 教科に関する調査 <小学校：国語、算数、理科> <中学校：国語、数学、理科>  
児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査
- (4) 調査方式 悉皆方式

## 2 全国学力・学習状況調査の概要



【本年度の新宮町, 福岡県, 全国の平均正答率の比較(小学校)】 【本年度の新宮町, 福岡県, 全国の平均正答率の比較(中学校)】

小学校第6学年及び中学校第3学年における本調査において、新宮町の平均正答率の結果として、全国平均・県平均ともに、上回る結果となった。小学校国語では+8.4pt、小学校算数では+6.8pt、小学校理科では+5.7、中学校国語では+4pt、中学校数学では+5.6pt、理科では+2.7ptであった。

## 3 児童生徒質問紙の回答結果と考察

(1) 学力との相関が見られる「非認知能力」に関わる質問項目)との比較から

【小学校】 ※「当てはまる」と回答した子供の割合

質問項目	令和元年		令和3年		令和4年	
	国	町	国	町	国	町
自分にはよいところがあると思いますか	38.8	48.7	36.2	56.9	39.4	47.7
将来の夢や目標をもっていますか	65.9	64.1	60.2	66.2	60.4	59.9
自分がやると決めたことはやりとげるようにしていますか	79.5	77.7	35.9	43.3	38.8	37.9
難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか	30.1	31.2	24.4	29.5	27.6	29.1
学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	28.8	34.5	32.3	52.3	30.5	32.3

【中学校】 ※「当てはまる」と回答した子供の割合

質問項目	令和元年		令和3年		令和4年	
	国	町	国	町	国	町
自分にはよいところがあると思いますか	44.0	56.9	31.0	40.9	36.0	33.5
将来の夢や目標をもっていますか	79.0	59.0	51.0	42.1	39.8	38.3
自分がやると決めたことはやりとげようとしていますか	44.0	56.9	80.0	39.5	36.8	39.8
難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか	32.9	22.1	26.0	23.5	21.4	29.2
学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	44.0	56.9	48.0	35.5	29.0	36.6

小・中学校ともに、「自分にはよいところがあると思うか」という質問に対して、管内目標値と比べおよそ10～13ポイント高い結果となった。また、どちらかといえば当てはまるという回答も含めると、8割以上となることから、自尊感情を高めている児童生徒が多いことが分かる。

一方で、「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する」ということに対しては、3割程度の児童生徒が「当てはまる」と回答していることから、難しいことにもチャレンジして達成感を味わえるような活動を仕組む必要が感じられる。

(2) 新宮町結果と経年比較から※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

①生活習慣について

質問項目	令和元年		令和3年		令和4年	
	町小	町中	町小	町中	町小	町中
朝食を毎日食べていますか	96.1	95.8	96.0	97.1	96.4	93.5
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	76.5	87.2	84.0	83.3	80.0	76.1

朝食については、この3年間でほぼ習慣化されていると言える。就寝時刻も小学校では大幅に改善されている。

②学習習慣・読書習慣について

質問項目	令和元年		令和3年		令和4年	
	町小	町中	町小	町中	町小	町中
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）	73.8	52.3	82.6	68.9	71.1	63.3

小学校第6学年においては、約80%の児童が1時間以上は学習しており、33.7%は2時間以上と回答している。また、中学校3年生においては、49.7%の生徒が2時間以上の学習を行っていることが分かる。「新宮町家庭学習のすすめ」にて目安としている学習時間を概ね達成していることが分かる。

平日に比べて、学校が休みの日は、勉強時間が減少している。小学校第6学年、中学校第3学年ともに、全くしないと回答する児童生徒が平日と比較すると、倍以上の児童生徒が回答していることが分かる。該当の児童生徒が計画的に家庭学習を行っているのか、丁寧に見守っていききたい。

「全くしない」についての回答は、町内小学校第6学年が19.3%、中学校第3学年が、26.1%であった。令和元年度から経年比較すると、小中ともに、わずかな増減を繰り返している。新宮町がめざす0%へ向けて、取組の推進を行いたい。

### (3) いじめの認識について

質問項目	令和元年		令和3年		令和4年	
	町小	町中	町小	町中	町小	町中
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.7	96.9	98.4	97.2	96.2	99.0
人が困っているときは、進んで助けていますか	90.6	94.3	93.9	91.3	90.8	90.4

小学校第6学年、中学校第3学年ともに、97%以上の児童生徒が「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と回答している。また、「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」の回答が、小学校第6学年が1.6%、中学校第3学年が2.8%であった。昨年度より減少しているが、この回答に該当する児童生徒については、回答状況を把握するとともに、今後も継続した丁寧な見とりが必要であると考ええる。

### (4) 地域貢献について

質問項目	令和元年		令和3年		令和4年	
	町小	町中	町小	町中	町小	町中
今住んでいる地域の行事に参加していますか	74.9	71.5	69.9	56.4	66.4	44.3
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	62.9	59.3	68.8	57.9	60.5	47.2

昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、地域行事も中止・延期もしくは規模縮小が続いたため、「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」に回答している児童生徒が多く見受けられた。小学校で3～4割、中学校で5割程度であったが、本年度は、小学校は約70%、中学校は約80%の児童生徒が何らかの形で参加していることが読み取れる。

今後も、コロナ禍であっても地域とのつながりを途絶えさせないよう、オンラインや規模を縮小してのディスカッションなどを学校が企画する活動を工夫し、カリキュラム・マネジメントの視点で、実効性があり効果的な教育課程について、柔軟に対応していく必要がある。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した小学校第6学年児童は約68%、中学校第3学年生徒は、約90%であった。前項目のように、昨年度の地域行事との関わりの減少に伴っての変化が見受けられたが、それ故により地域や社会のためにできることを考えようとしている児童生徒の増加が見られる。各教科等での単元・題材でのつながりにおいて地域を意識するとともに、各学校・校種間や中学校区において、よりリアルな単元・題材の開発を通して、児童生徒の考えを実現させる活動へとつなげていくことをめざしたいと考える。

### (5) 各教科について

#### ・国語科について

質問項目	令和元年		令和3年		令和4年	
	町小	町中	町小	町中	町小	町中
国語の授業で学習したことは、将来、社会にでたときに役に立つと思いますか	87.3	92.1	94.0	94.1	94.7	91.4

小中共通して、国語科の有用性について感じているものの、目的に応じた活用については自信がないことがうかがえる。小学校について、11.5pt増となった要因を探ることで授業改善につなげたい。

・算数科・数学科について

質問項目	令和元年		令和3年		令和4年	
	町小	町中	町小	町中	町小	町中
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会にでたときに役に立つと思いますか	86.2	91.5	94.7	81.6	94.8	79.8

算数・数学の有用性について、小学校は8.5pt増、中学校は9pt減となった。しかしながら、中学校の数学の平均正答率は全国を大きく上回る結果となっていることから、その要因を究明したい。

(6) 学級活動について

質問項目	令和元年		令和3年		令和4年	
	町小	町中	町小	町中	町小	町中
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか	82.8	88.7	84.8	83.0	79.0	81.4
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか	70.6	88.0	85.3	77.9	75.8	75.5

小学校において、学級会における、学級のよさを感じ、自分の取組を評価している児童が8割以上いることが分かる。中学校において、自己決定・自己実現の意識の減少が見られる。

(7) 道徳科・道徳について

質問項目	令和元年		令和3年		令和4年	
	町小	町中	町小	町中	町小	町中
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか	85.9	91.6	89.4	92.7	82.2	87.2

経年変化を見ても、中学校の協働的な学びにつながる話し合い活動の常時的な取組を継続していることから、本年度も92.7%の生徒が自分の考えの深まりを感じていることが読み取れる。

(8) 総合的な学習の時間について

質問項目	令和元年		令和3年		令和4年	
	町小	町中	町小	町中	町小	町中
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか	76.0	88.4	75.1	74.8	66.6	77.3

コロナ対応のため、従来どおりの活動を中止・変更となる状況から、課題発見・課題解決の意識が低下していることが分かる。カリキュラム・マネジメントの視点で、学びを止めない取組の推進を継続したい。